

第32回定時株主総会



平成29年9月28日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

- **事業報告及び事業方針**
 1. 対処すべき課題への対応
 2. 第32期業績と第33期見通し
 3. 中期事業計画

- **報告事項（計算書類）**

- **決議事項**

➤ 事業報告及び事業方針



1. 対処すべき課題への対応

詳しくはお手もとの招集ご通知
8～9ページをご覧ください。

1. PSSブランド製品販売

OEM供給製品だけではなくPSSオリジナル製品の販売開始
geneLEAD(遺伝子)、Magtraion(抽出)、SpeLIA (生化学)Series

2. 臨床診断市場への本格的参入

従来の臨床研究市場から臨床診断市場への本格的参入
規制規格対応が必要に(IVD、FDA、厚労省)

3. 試薬製品の量産体制確立とラインアップ拡充

大館試薬センターの本格稼働と従来の抽出試薬だけではなく
多種多様な診断薬も近日発売の見通し

(株)日立ハイテク
ノロジーズ社
との資本業務
提携契約締結
(2017.5.15)



- ✓ 業績の黒字化実現すべく
Bio System NetをPR
- ✓ WEBサイトの全面刷新

ようこそPSSへ

ライフサイエンスとヘルスケアのためにPSSができること
遺伝子、免疫、生化学システムによる測定/診断



ウェブサイトリニューアル - トップページ



ウェブサイトリニューアル - 動画



Complete solution for MDx

geneLEAD VIII

© 2017 Precision System Science Co., Ltd.

概要

核酸抽出からリアルタイムPCRまでを完全自動化。サンプル・消耗品・試薬をセットし、「Migration」による核酸抽出、抽出した核酸の増幅および検出までの一連の処理を自動化いたします。

※近日発売予定
本製品は研究用機器となります。

geneLEAD VIII 製品紹介動画

POINT 2

リアルタイムPCRまで完全自動化。

の人力
要
減

POINT 3

遺伝子検査
の自動化

POINT 5

リアルタイムPCRまで完全自動化。

の人力
要
減

POINT 6

遺伝子検査
の自動化

装置 ラインアップ

geneLEAD XII plus

遺伝子検査フローを完全自動化した様々なニーズに応えるオープンシステム



遺伝子診断

geneLEAD VIII

PSSから提案する全自動遺伝子検査システムのプレイクスルー ※近日発売予定



免疫測定

LuBEA

多項目同時検出ツール「BIST」のための小型全自動反応測定装置



magLEAD 6gC / 12gC

小容量～中容量の様々なサンプル種に対応したコンパクト抽出システム



DNA抽出 / Sample Preparation

magLEAD 5bL

大容量サンプルからの核酸抽出システム



生化学分析

SpeLIA

小型、全自動、簡単操作で施設内測定を実現する小型分析システム



試薬 ラインアップ

magLEAD 5bL



MagDEA Dx LV

5mL全血サンプルからのゲノムDNA抽出用プレパック試薬



geneLEAD XII plus / VIII

magLEAD 12gC / 6gC



MagDEA Dx SV / MV

様々なサンプル種からの核酸抽出に対応したユニバーサル試薬



SpeLIA

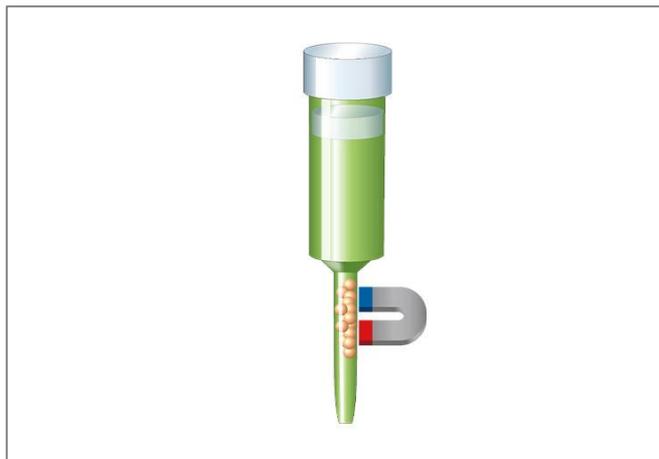


SpeLIA

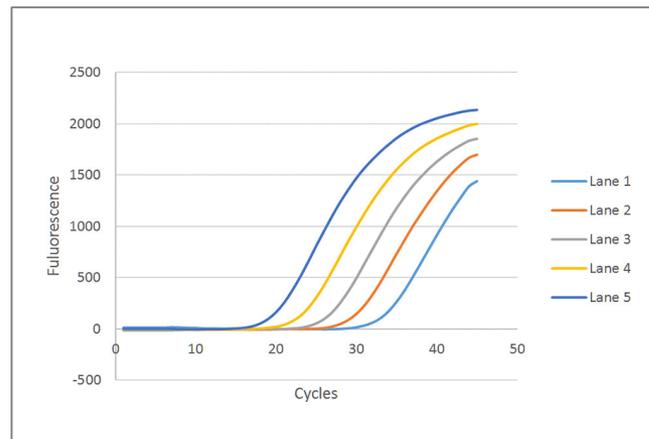
はじめての方にも使いやすい、SpeLIA専用プレパック試薬



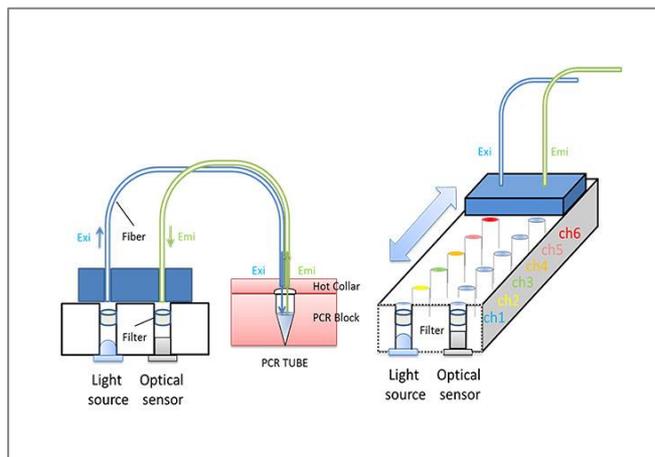
Magtration



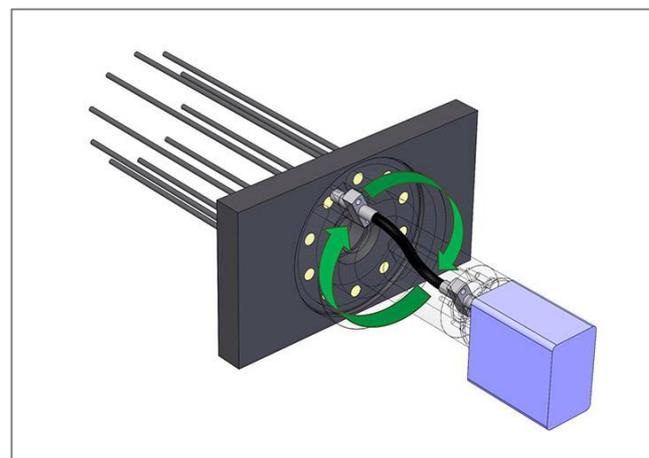
リアルタイムPCR



L x L Scanner



R x F Scanner



PSSバイオシステムコンセプトの提案

シンプルな技術ゆえに可能となった、高精度、コンパクト、汎用性が高く、メンテナンスが容易なシステム。
多様な分野におけるユーザーフレンドリーかつオープンシステムを創造していきます。

分注チップを中心とした単純化システム

DNA Extraction / Sample Preparation

- > Magtration Tip
- > Column Tip
- > Bellows Tip
- > BIST
- > Master Tip
- > ElePhos Tip



試薬ボトル管理からの解放

Pre-filled Reagent

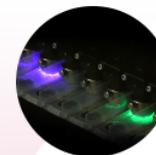
- > MagDEA
- > SpeLIA



多検体同時測定

Automated Detective Device / Real-time PCR

- > L x L Scanner
- > R x F Scanner
- > Brightal nozzle



高精度、コンパクト、汎用性が高い自動化システム

User-Friendly, Open System Concept



> magLEAD



> geneLEAD



> LuBEA



> SpeLIA

世界に広がるバイオシステムネットワーク

PSSバイオシステムコンセプトの提案により、
多様な専門分野の要求に正確に応える技術ネットワークが世界中に広がっています。



共同開発・ナショナルプロジェクト

過去プロジェクト

実施期間	開発PJ名	装置名
2012-2014	糖タンパク質の糖鎖品質を全自動で定量評価できる	全自動糖鎖プロファイリング装置
	省エネ・省スペース型装置の開発 (JST)	
2010-2012	血中がん遺伝子診断の検体処理自動化システムの研究開発 (NEDO)	遺伝子検査用検体処理自動化装置
		(12GC + μ TAS評価機構)
2009-2010	ハイテクものづくり (産総研 ナノテク材料分野)	geneTYPiST (ExIID)
2008-2010	特定食物アレルギー迅速・簡易定量システム構築に関する調査研究	LuBEA
	(SBIR NEDO)	
2009	糖鎖機能活用技術開発PJ (NEDO)	糖鎖解析エンリッチメント装置
		(SX-12TS改造)
2007-2009	ADマーカー探索PJ (NEDO)	ProScope
		M1200
2005	大学発事業創出実用化研究開発事業 (NEDO)	MagSNiPer FD II
2003-2004	大学発事業創出実用化研究開発事業 (NEDO)	MagSNiPer FD
2000-2001	SNPs探索PJ (NEDO)	SX-96GC
		サンプルローディングシステム

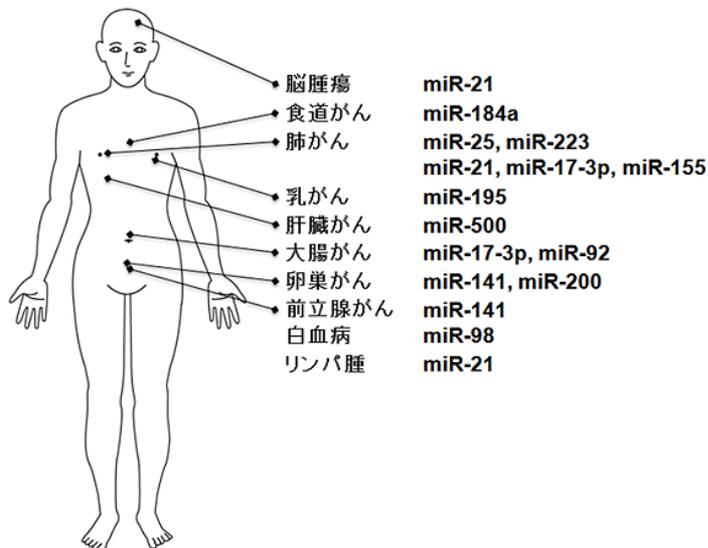
進行中プロジェクト

実施時期	開発PJ名	課題名
2016-2019	「植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発」 (NEDO)	「高生産性微生物創薬に資する情報解析システムの開発」
2016-2019	「豊かで安全な社会と新しいバイオものづくりを実現する人工細胞リアクタ」 (ImPACT)	東大及びABBOTT社と連携 「臨床用全自動デジタルELISA装置開発」
2014-2018	「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業」 (AMED)	体液中マイクロRNA測定技術基盤開発

INFORMATION

「血液1滴から13種のがん発見」、実用化へ動き出す

国がん中央病院で臨床研究開始、3年後に人間ドックのメニューへ (2017年7月24日読売新聞)



(出典:NEDO)



(出典:NEDO)

グループ会社紹介

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 本社



機器開発
試薬開発
自社製品販売

Precision System Science USA, Inc.



ユニバーサル・バイオ・リサーチ株式会社



知的財産管理
要素技術研究開発
特注器開発

Precision System Science Europe GmbH



エヌピーエス株式会社



機器製造 /
プラスチック成形品製造

大館試薬センター



試薬製造

➤ 事業報告及び事業方針

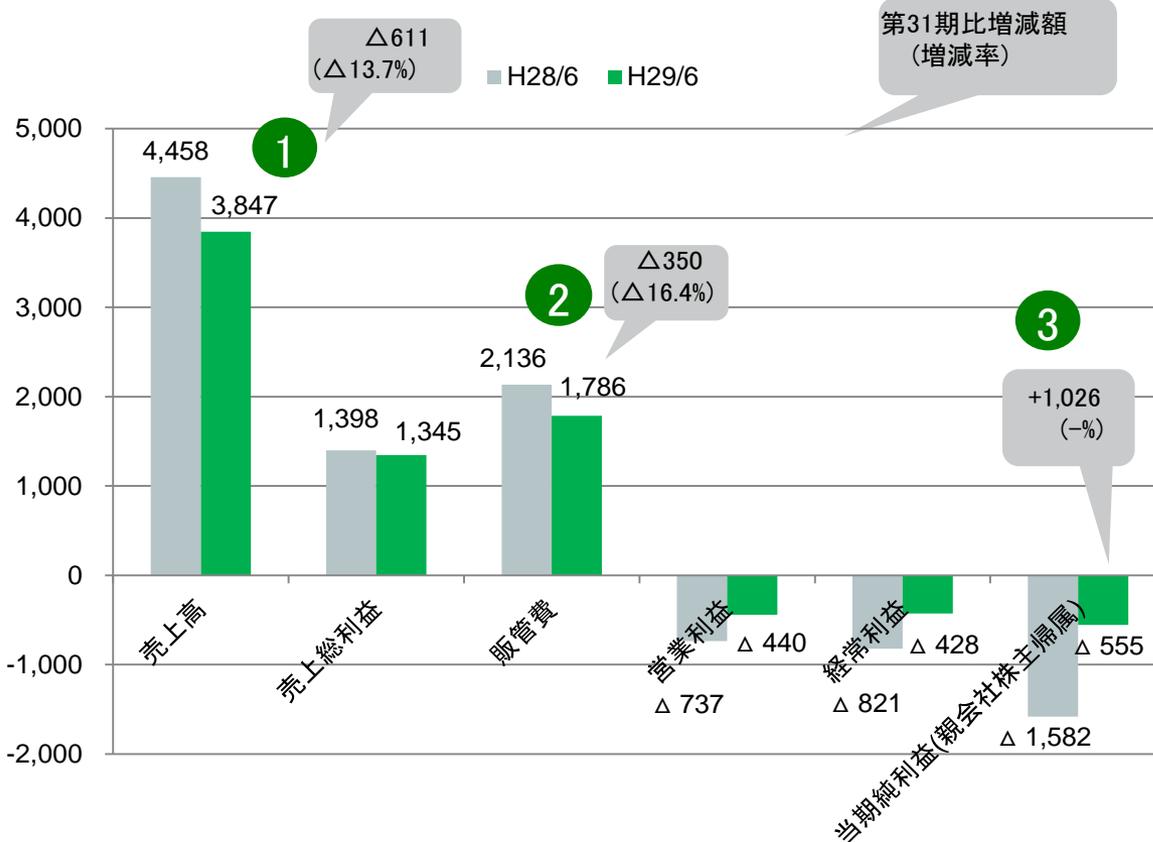


**2. 第32期決算(平成29年6月期)と
第33期(平成30年6月期)の見通し**

第32期(H29/6)連結業績

- 連結業績は、前期比減収となりましたが、費用削減努力により赤字幅は前期比縮小しました。
- 特別利益及び特別損失 (固定資産の減損損失等)の計上をしました。

(単位:百万円)



◆ 第31期(H28/6)業績比

- ✓売上高の減収

OEM販売においては、全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII Plus」が順調な販売推移となり前期比で売上が倍増した一方、OEM先の一部において、製品出荷が一時休止となっている影響が大きいこと、近年注力している自社販売においては、前期比で約1.5倍の売上拡大となったものの、OEM販売の減収を補うには至らず、売上全体では前期比で減収となりました。
- ✓販管費は前期比削減

費用削減努力により研究開発費647百万円(前期比16.8%減)となったほか、その他費用削減にも努め、対前期比350百万円削減(前期比16.4%減)となりました。
- ✓特別利益及び特別損失の計上

「特別利益の計上」
取引先との契約に基づく受取補償金37百万円を計上しました。

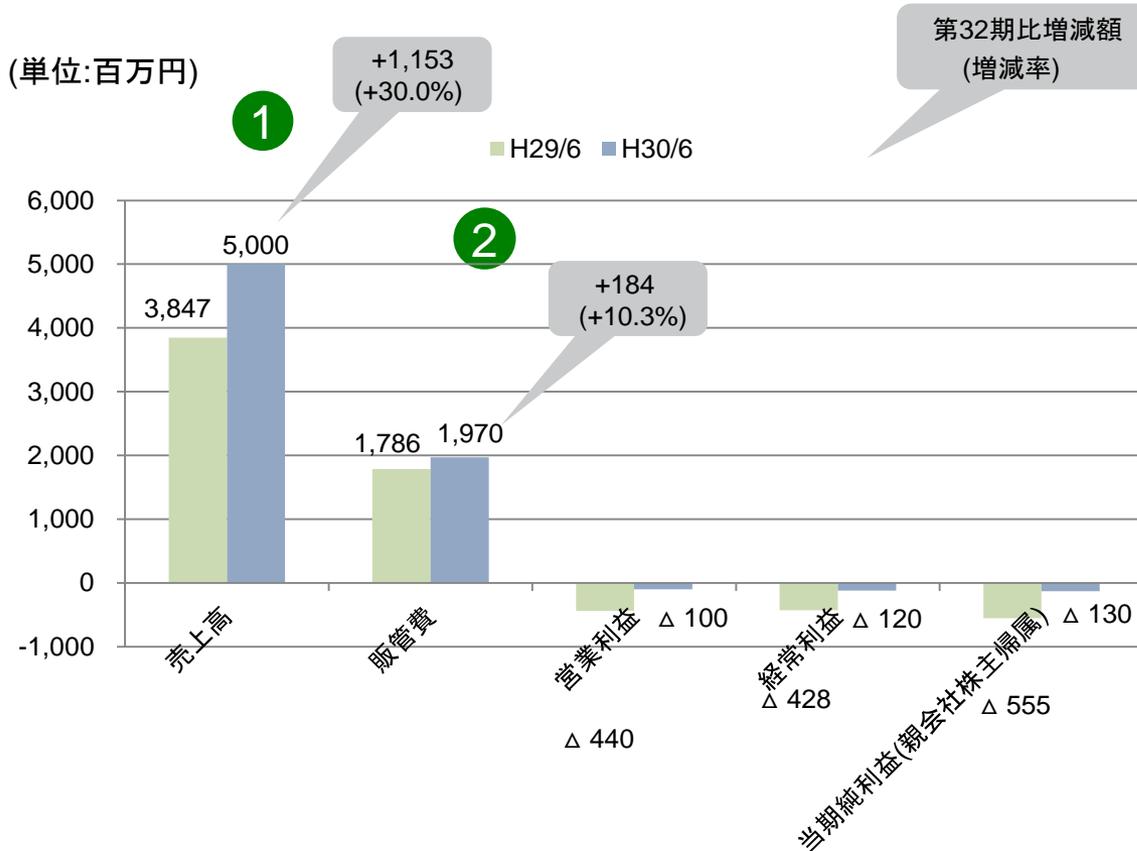
「特別損失の計上」

①たな卸資産評価損
一部製品の在庫について、保守的な観点からたな卸評価損53百万円を計上しました。

②固定資産の減損損失
保守的な観点から減損の兆候が認められるものとし、当社グループが保有する固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失139百万円を特別損失に計上しました。

第33期(H30/6)通期連結業績見通し

◆ 営業赤字となる見通しです。事業拡大のための必要な投資として、開発活動と自社販売活動に対して、引き続き積極的な投資をまいります。収益とのバランスを考慮しつつ、早期黒字化を目指します。
 (なお、為替の見通しは、1ドル=110円、1ユーロ=130円にて算定しております。)



◆ 第32期(H29/6)業績比

- 1 ✓ 売上高対前期比拡大
 エリテック社向けの全自動遺伝子診断装置やその他OEM先において販売の拡大が期待できるほか、新規取引先の開拓にも注力していること、さらに、近年注力しております自社販売におきましても引き続き販売拡大が期待できる見通しです。
- 2 ✓ 販管費対前期比増加
 geneLEADシリーズを中心とした遺伝子診断分野における試薬・装置など製品ラインアップ充実の早期実現のため研究開発投資805百万円(前年同期比24.4%増)を見込んでいたほか、自社販売活動をさらに強化していくため営業費用の増加を見込んでいます。

➤ 事業報告及び事業方針

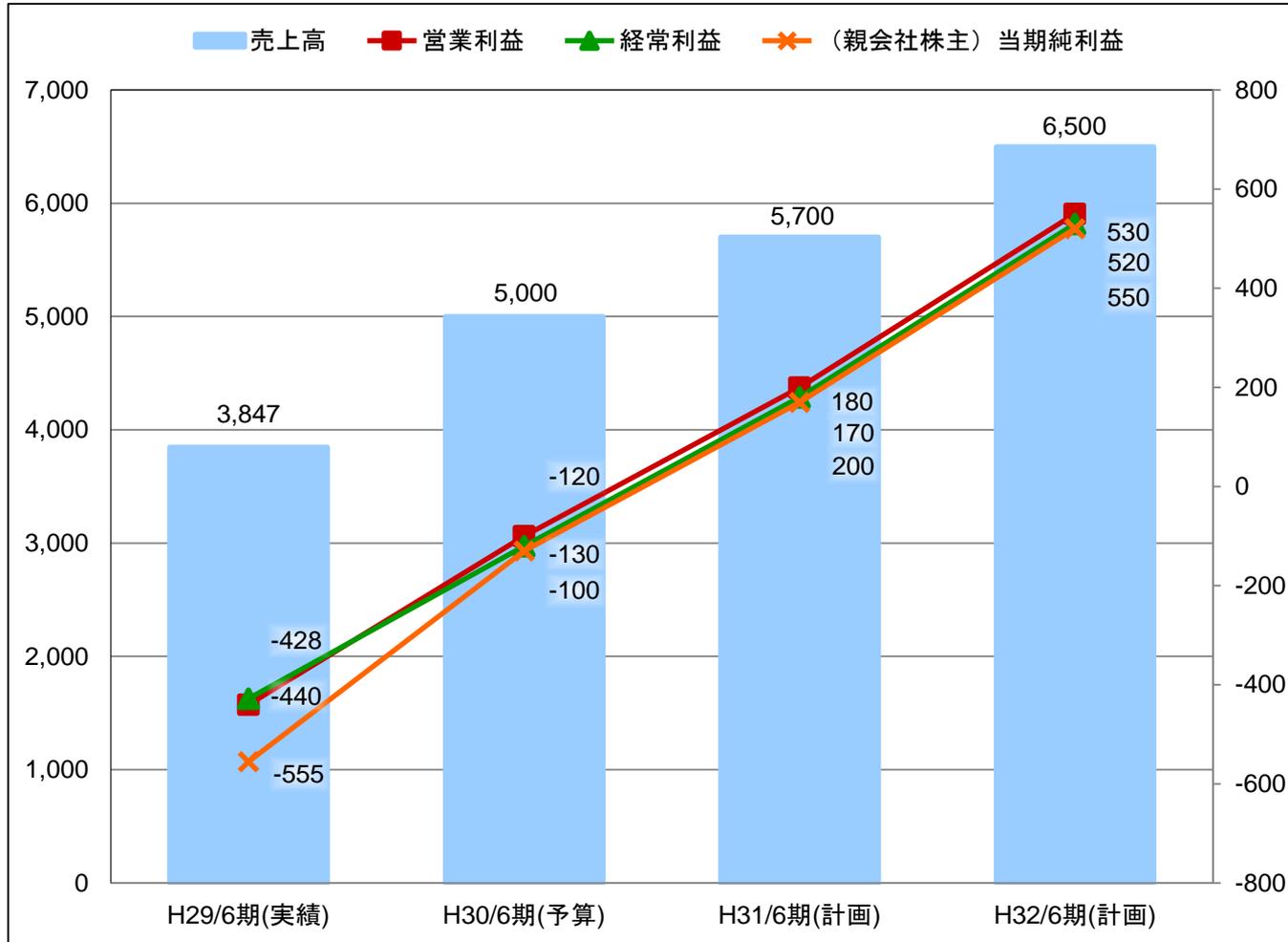


3. 中期事業計画

中期事業計画(損益計画)

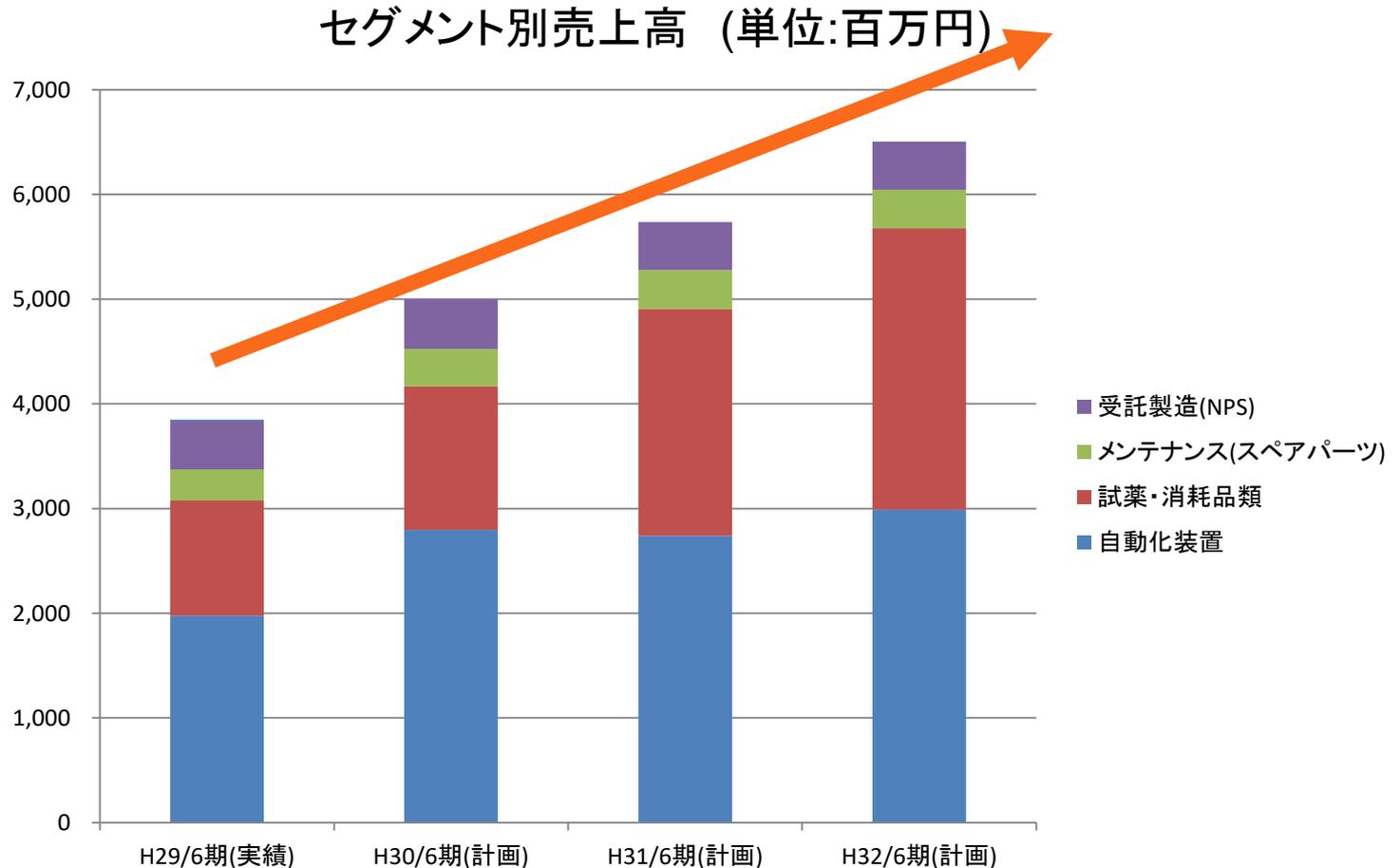
■ 売上は3年間で約70%強の増加を計画し、H31/6期より業績黒字化を目指します。
 為替レートは、1ドル=110円、1ユーロ=130円の前提とします。

(単位:百万円)



セグメント別売上計画

- 装置の売上げは堅調に推移
- 試薬・消耗品の売上が拡大してH32/6期には、全体の約40%の売上構成比を見込んでいます。



中、長期(2~5年)計画の製品化ターゲット

geneLEAD(遺伝子)シリーズの応用

大病院、大検査施設で利用出来る。

- **ハイスループットリアルタイムPCRシステム**

臨床、医療の現場で利用出来る。

- **DNAシーケンサー全自動化システム**

LuBEA(免疫)、SpeLIA(生化学)の応用

小規模医療現場で利用出来る。

- **さらに小型、高感度な免疫、生化学検査システム**

試薬事業の拡大

DNA抽出 + PCR + サーマルサイクルウェルを一体化した
All in One 試薬KIT

- **感染症、ガン検査を中心に100項目以上の品揃え**

➤ 報告事項(計算書類)

詳しくはお手もとの招集ご通知
19～22ページをご覧ください。

報告事項（計算書類）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	【5,035,863】	流動負債	【1,385,820】
固定資産	【768,763】	固定負債	【667,470】
有形固定資産	(709,290)	負債合計	2,053,291
無形固定資産	(2,202)	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	(57,271)	純 資 産	3,751,335
1 資 産 合 計	5,804,627	2 負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,804,627

1

✓総資産 対前期比微減(15百万円)

現金及び預金が188百万円減少、受取手形及び売掛金が181百万円減少した一方で、たな卸資産が297百万円増加しました。

2

✓純資産 対前期比増加(319百万円)

第三者割当増資等の実施により、資本金、資本剰余金がそれぞれ429百万円増加した一方、親会社株主に帰属する当期純損失の発生により利益剰余金が555百万円の減少したことによるものです。

➤ 決議事項

- 取締役7名選任の件

詳しくはお手もとの招集ご通知
27 ~ 29ページをご覧ください。

- ・会計監査人選任の件

詳しくはお手もとの招集ご通知
29ページをご覧ください。

第32回定時株主総会

平成29年9月28日

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

本日は、PSSの第32回定時株主総会にご参加を頂きまして、誠に、ありがとうございます。今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

平成29年9月28日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
[URL: www.pss.co.jp](http://www.pss.co.jp)

(お問い合わせは、IR・社長室まで)
電話: 047-303-4800
メール: ir@pss.co.jp